

りんどうの収穫調製作業に影響を与える要因

【1 成果概要】

りんどうの収穫作業はりんどうの生育や病虫害の被害状況に影響を受け、生育が斉一で病虫害被害の発生が少なければ、1本あたり収穫時間は短くなります（図1）。

りんどうの選花作業は作業者の作業領域の広さに影響を受け、作業領域が狭いほど、1本あたりの選花時間は短くなります（図2）。

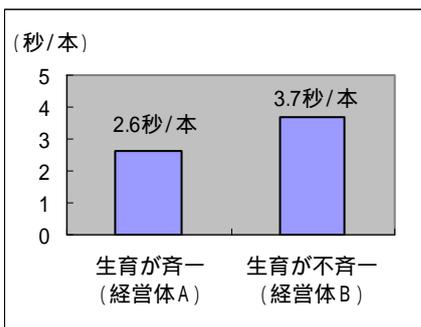


図1 生育状況等の違いによる収穫時間の変化

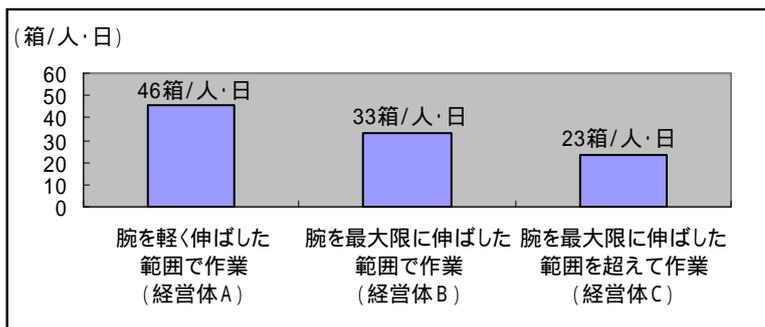


図2 作業領域の違いによる選花の作業効率の違い



経営体 A 椅子に座ったまま腕を前後に動かして選花

作業能率 46 箱/人・日



経営体 B 小さな椅子に座り上半身を捻りながら選花

作業能率 33 箱/人・日



経営体 C 立ったまま身体と腕を左右に動かして選花

作業能率 23 箱/人・日

図3 選花時の作業方法と作業領域

【2 効果】

りんどうの収穫調製作業の作業効率を高めることができます。

【3 適応対象】

りんどう産地の普及指導員、関係機関・団体等の指導員等